

事故防止のためのリスクマネジメントセミナー

令和5年12月20日

損害保険ジャパン株式会社

営業開発部 第三課

はじめに

リスクマネジメントの基礎知識

保険の基礎知識

事故事例の紹介 — 全管連・管工事賠償補償制度の事例 —

(ご参考) 全管連・団体保険制度のご紹介

本日のセミナーでお伝えしたい事は以下の2点です。

1. リスクへの備え方をご理解いただき、皆様の状況にあった対策を講じていただきたい。

2. 事故が起きたときの備えとして「保険」の重要性をご理解いただきたい。

はじめに

リスクマネジメントの基礎知識

保険の基礎知識

事故事例の紹介 — 全管連・管工事賠償補償制度の事例 —

(ご参考) 全管連・団体保険制度のご紹介

リスクと聞いて、どのような事（もの）をイメージされますか？

リスク (RISK) = 危険

リスクとは

「損失という不利益を被る可能性」

「目標に対して不確かさが与える影響」

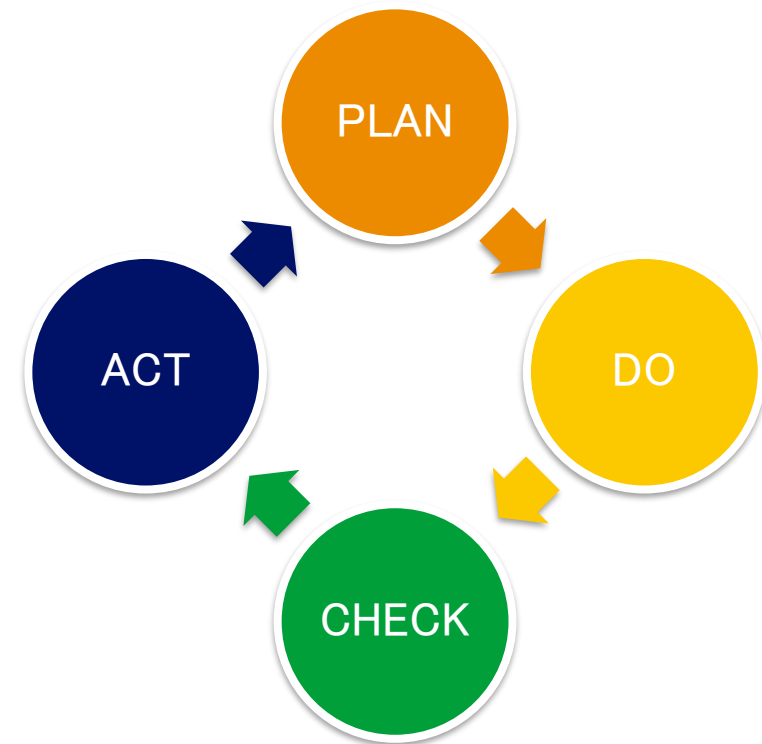
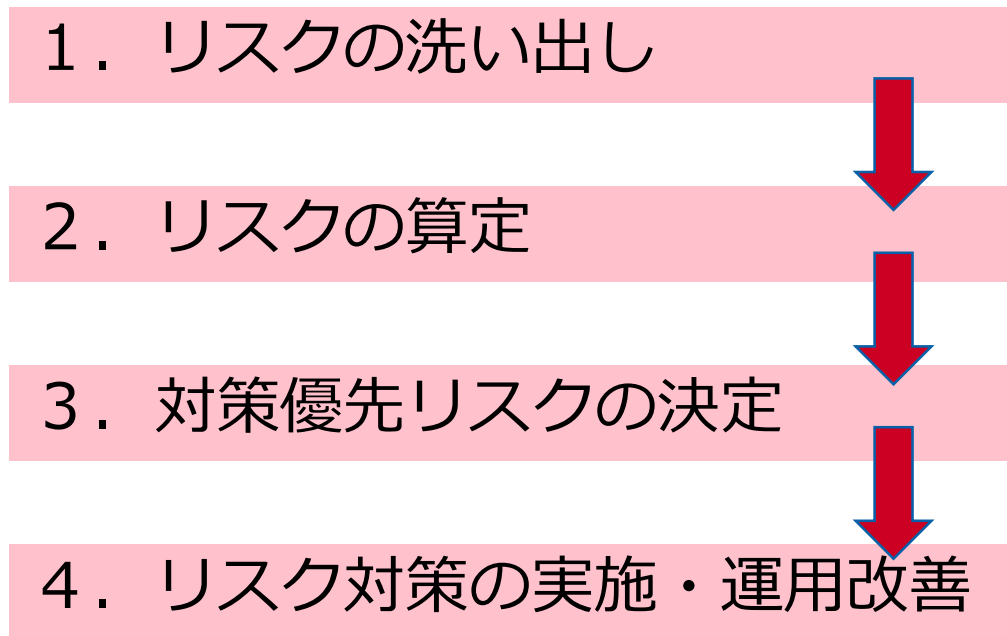
(ご参考)

ハザード：潜在的な危険や不確実性

ペリル：損失の原因

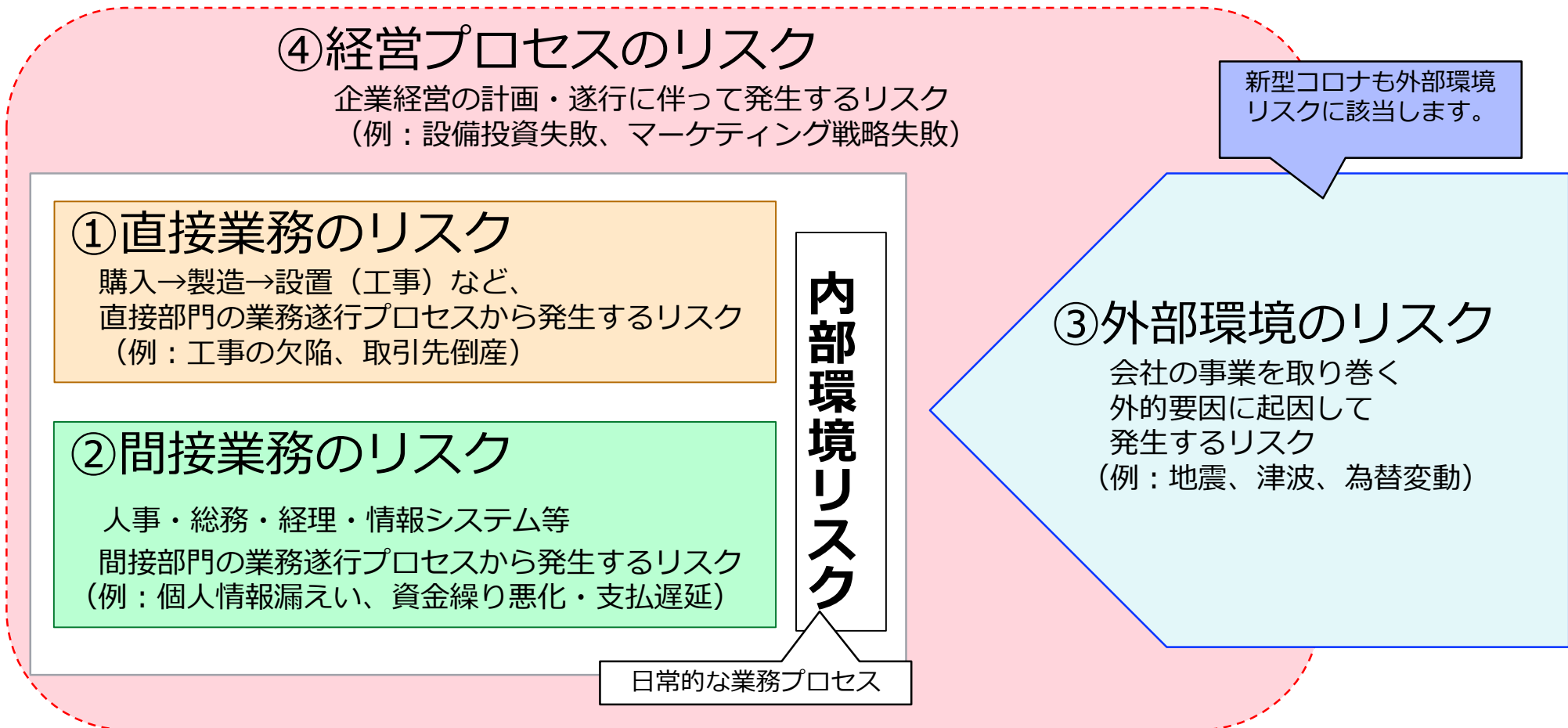
リスクマネジメントの基礎知識 –リスクマネジメントとは–

リスクマネジメントとは、目的達成を妨げる阻害要因や不確実さを排除・軽減（リスクを管理したり・取り除いたり）するための経営管理の中に組み込まれた活動であり、かつリスクをコントロールする現場活動でもある。具体的には下図の通りです。



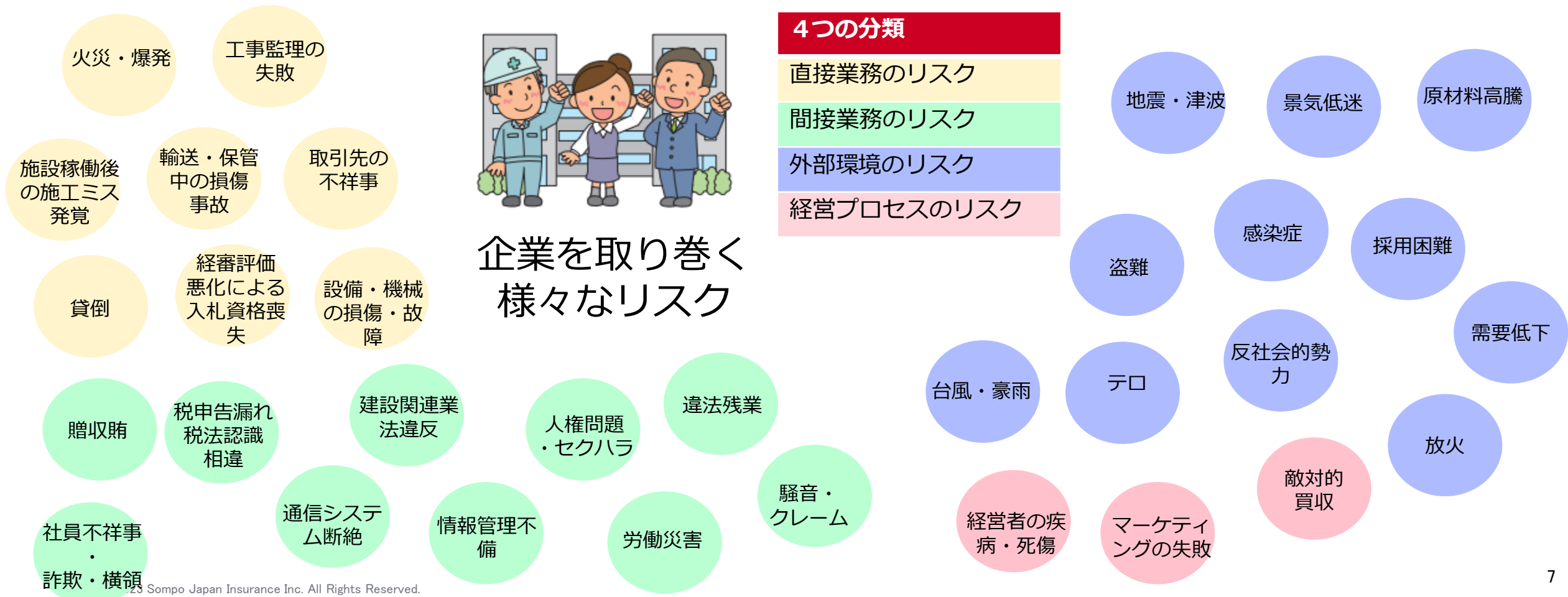
リスクマネジメントの基礎知識 – リスクの洗い出し –

外部環境、内部環境に関するリスクを調査したうえで経営判断していることから、リスクを4つに区分したうえで各項目のリスクを洗い出します。



リスクマネジメントの基礎知識 – リスクの洗い出し –

たとえば、工事業をイメージすると下図のようなリスク項目が洗い出しできます。



リスクマネジメントの基礎知識 –リスクの算定–

リスク項目ごとに、それぞれにおいて、現実性のある想定シナリオの中で最悪の事例を洗い出し、そのうえで損害規模・発生頻度のランク付けをします。

大分類	
A	直接業務のリスク
B	間接業務のリスク
C	外部環境のリスク
D	経営プロセスのリスク

ランク	損害規模の目安
7	会社存続を脅かす致命的な損害が生じる
6	赤字や資産減失の甚大な損害が生じる
5	利益減や資産損失の多大な損害が生じる
4	かなりの利益減や資産損失などが生じる
3	若干の利益減や資産損失などが生じる
2	会社の利益や資産にほとんど影響がない
1	会社の利益や資産に全く影響がない

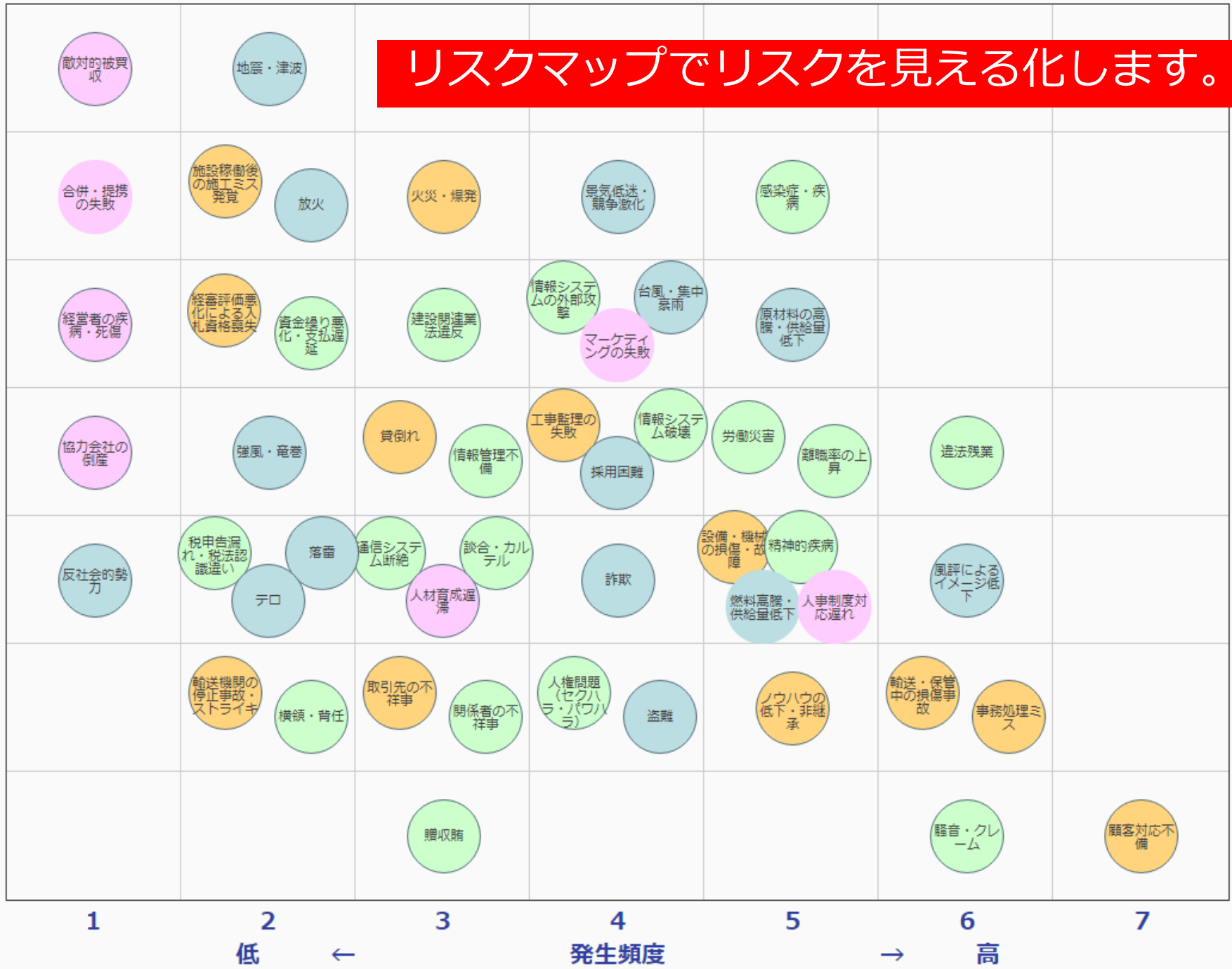
ランク	発生頻度（再現期間）の目安 ○年に1回発生
7	1年以下（よく起こる）
6	1年超 5年以下
5	5年超 10年以下
4	10年超 20年以下
3	20年超 30年以下
2	30年超 100年以下
1	100年超（ほぼ起こり得ない）

ランク付けには専門知識や経験が必要となるため、弊社より「リスクマップ」のご提供が可能です。

リスクマップは経営への影響がイメージしやすくなり、多くのお客さまに好評です。
リスクマップのサンプルは次ページをご覧ください。

リスクマップでリスクを見える化します。

大
↑
損害規模
↓
小

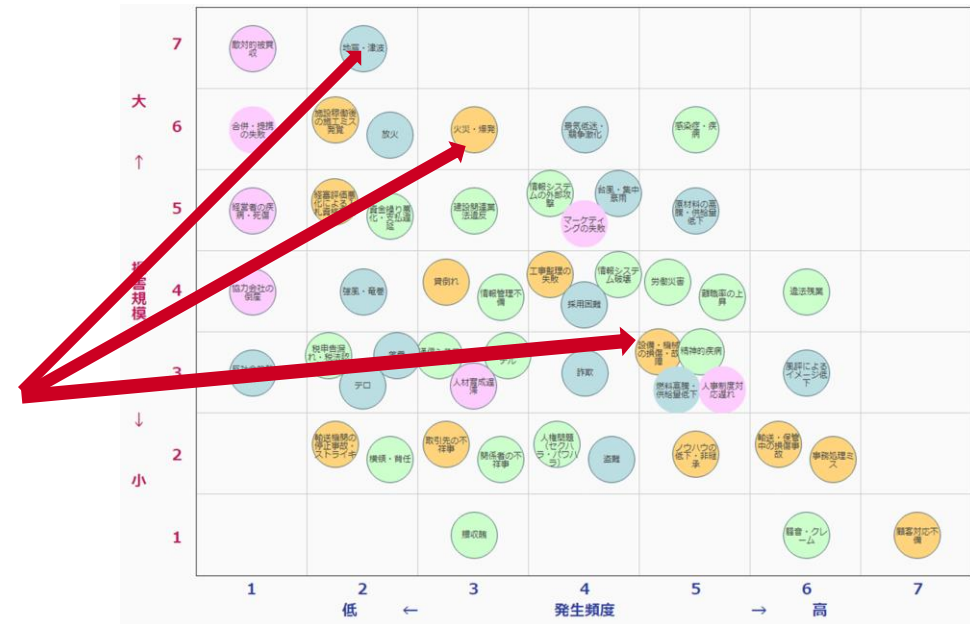
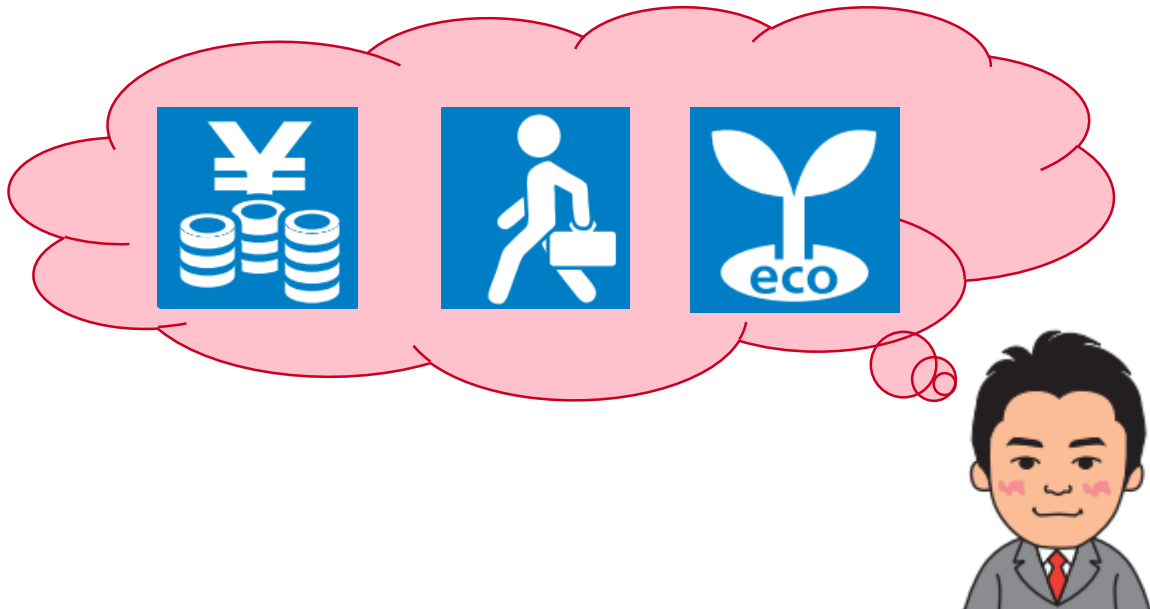


1 2 3 4 5 6 7
低 ← 発生頻度 → 高

リスクマネジメントの基礎知識 一対策優先リスクの決定一

洗い出し、算定されたリスクは効率性の観点から、優先順位をつけて対応します。

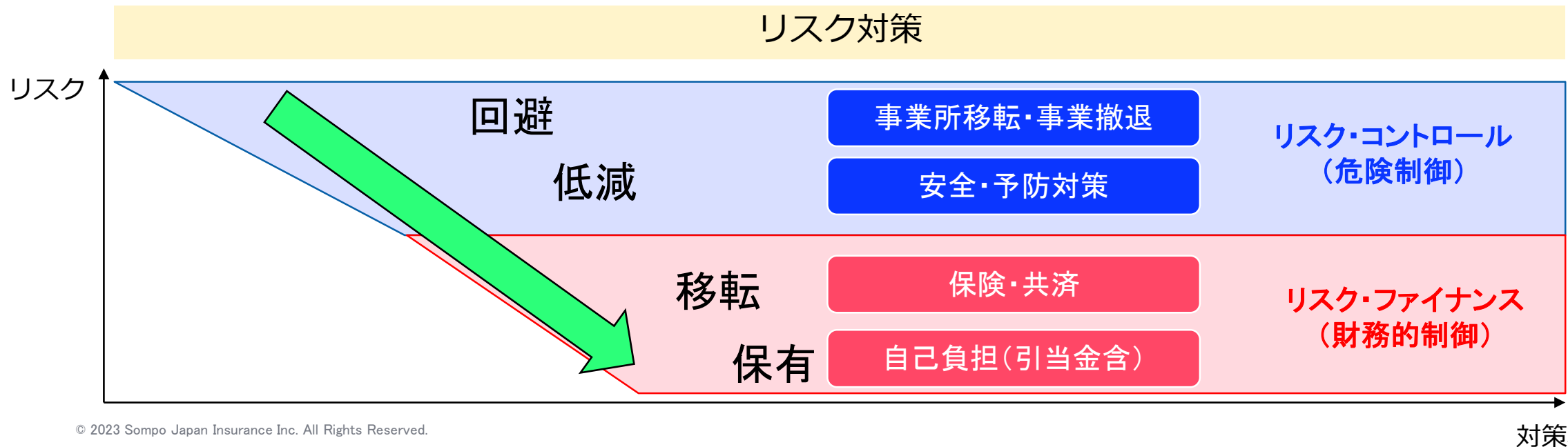
リスクマップをもとに企業が、資金、時間、人員、非金銭的な要素（社会的評価等）、現状対策の状況等を加味して、優先的に対策が必要なリスクを決定します。



対策優先リスク決定後は、担当する部署や組織を明確にするとともに、権限と責任を付与。

リスクマネジメントの基礎知識 –リスク対策の実施・運用改善–

- ・ リスクマネジメントには、4つのリスク対策（回避・低減・移転・保有）が存在します。
- ・ リスク自体を制御する“**リスク・コントロール**”と制御しきれないリスクを財務的に対処する“**リスク・ファイナンス**”に分かれ、組み合わせることでリスクを低減することが出来ます。
- ・ リスク・コントロールを強化すれば、事故による損失を減らすだけでなく、間接的なコスト（保険など）削減にもつながり、副次的には事業中断リスクやブランド価値毀損の予防にもつながります。



4つのリスク対策（回避・低減・移転・保有）をご説明いたします。



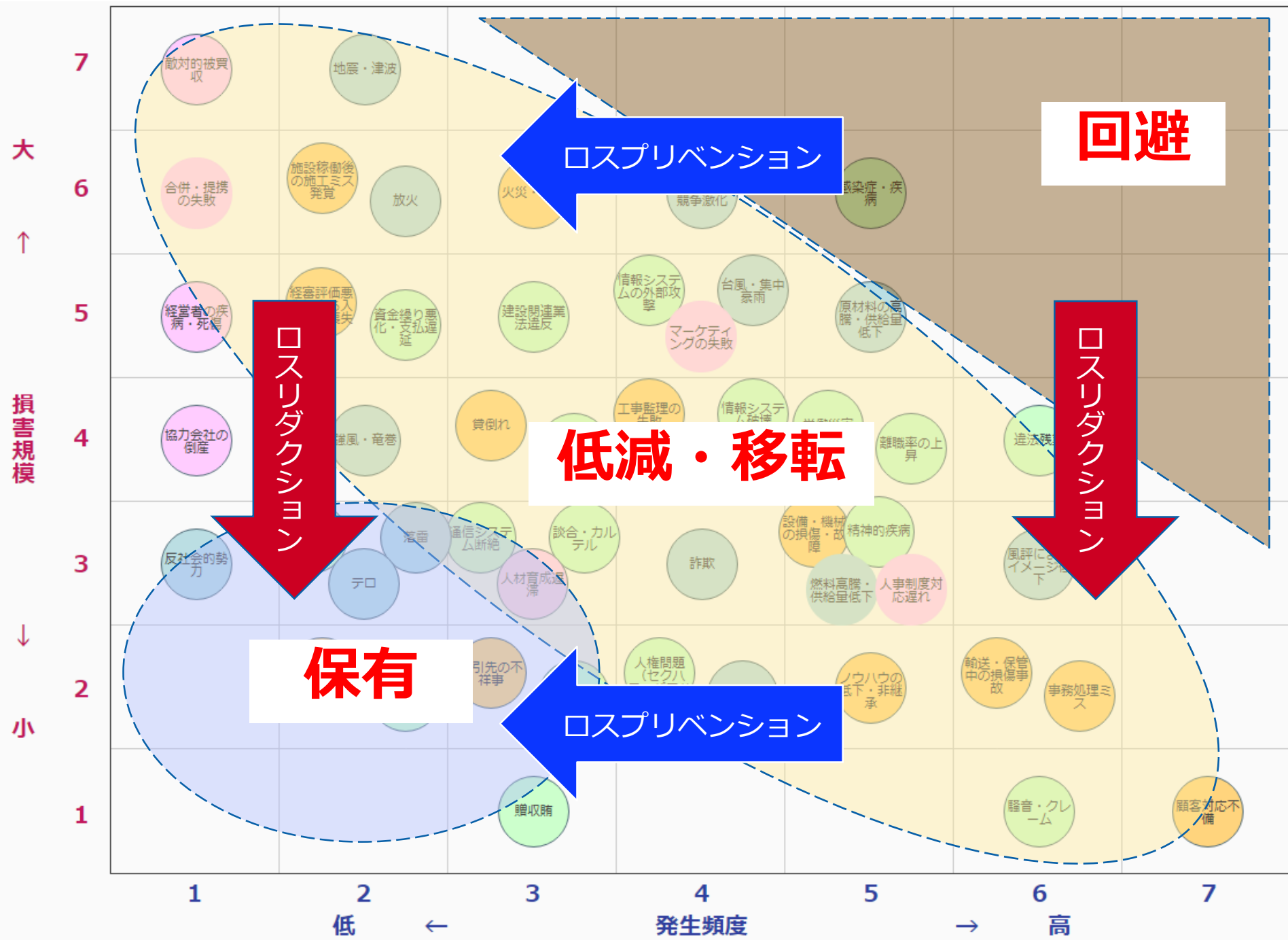
住宅の近くを流れる川が氾濫した場合

回避：川から離れた場所に建替える

低減：堤防を建設する

移転：保険・共済に加入する

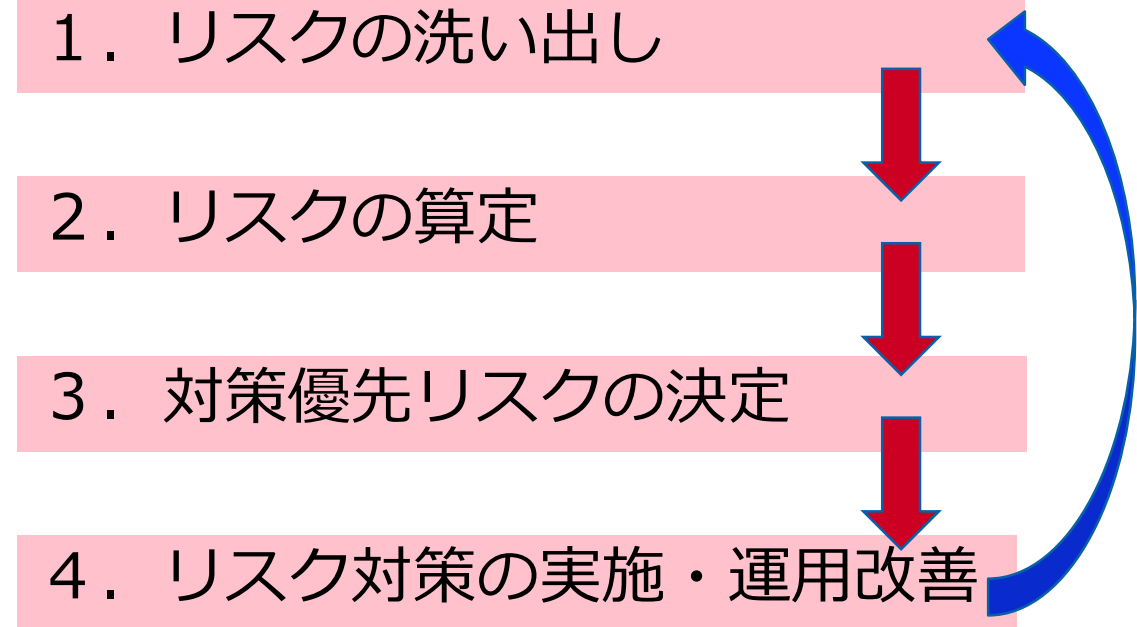
保有：自己資金で再建する



ロスピリベンション
 事故の発生頻度を低減させること。

ロスリダクション
 損害規模を軽減させること。

- 個別リスクに関する**リスク対策を計画し、実施**します。
- リスク対策の実施状況を経営陣が**定期的に把握し、必要に応じて改善**を指示します。
- 一定期間経過した段階で、対策優先リスクおよび全社のリスクを**再度洗い出し、算定**
 - **評価**します。



この様な一連の流れによりリスクマネジメントを運用していきます。

はじめに

リスクマネジメントの基礎知識

保険の基礎知識

事故事例の紹介 — 全管連・管工事賠償補償制度の事例 —

(ご参考) 全管連・団体保険制度のご紹介



リスク・ファイナンスで保険って言われても、
そもそも、保険の事が分からないんだよなあ。



「保険」は、助け合いの精神でできている。

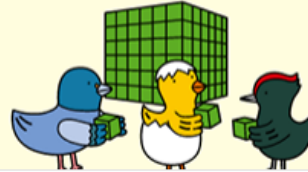
保険の仕組みは「相互扶助」という四文字熟語で表せます。
この「相互扶助」はどのような意味なのでしょう？

相互扶助の
「相互」って？

「相互」は、お互いという意味。

保険に入っている人達が、
お互いにお金（保険料）を少しずつ出し合います。

みんなで出し合うから、
一人一人が支払う金額は少ない。



じゃあ、
「扶助」って？

「扶助」は、助けるという意味。

保険料を払ったうちの誰かが事故にあった時は、**集まったお金の一部**
を渡し、お互いに助け合うのです。

みんなで出し合うから、
十分なお金を準備できる。



一人は万人のために、万人は一人のために。

みんなでお金を出し合い、誰かが事故にあったときは、そのお金で補償
するのです。



事故が増えたことでお金（保険金）の
支出が増えていくと・・・

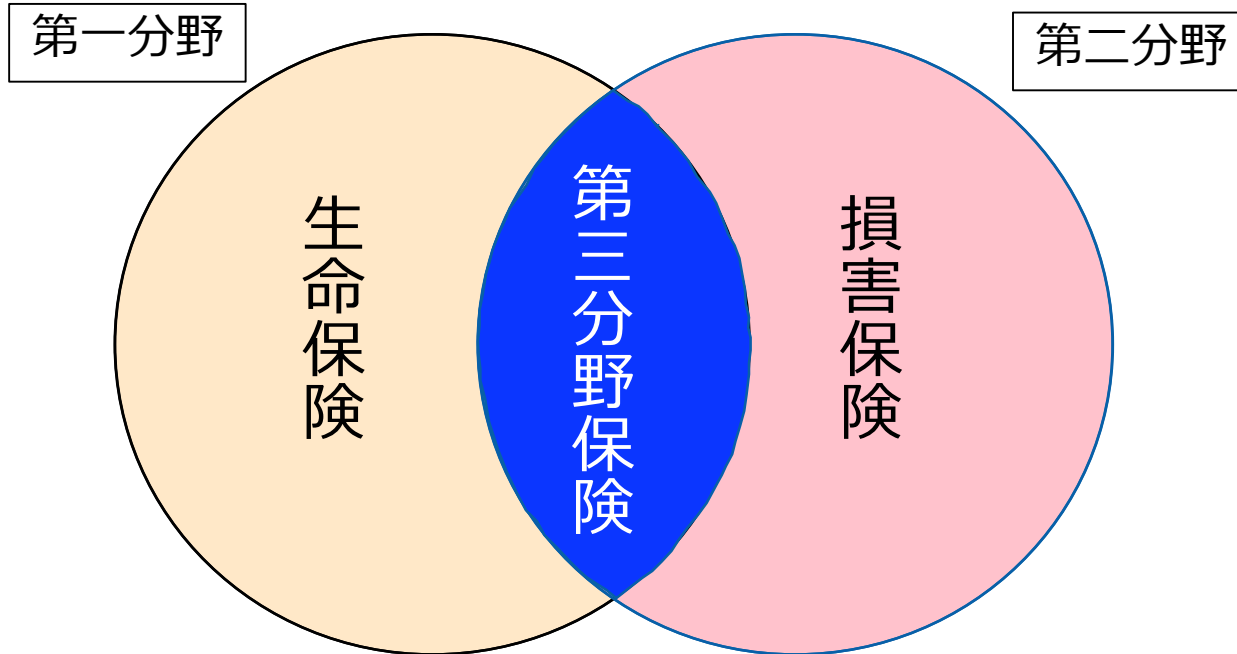


「扶助」するためのお金が減る。
(無くなってしまう可能性有)



早急に埋め合わせるため、**みんなで
出し合うお金（保険料）を値上げして
集めなければいけない。**

保険は、大きく分けると3つの分野に分かれます。



概要

	生命保険 (第一分野)	損害保険 (第二分野)	傷害保険・医療保険など (第三分野)
保険取扱い	生命保険会社	損害保険会社	生命保険会社および損害保険会社
保険の対象	人(生存・死亡)	物	人(傷害・疾病など)
保険金支払い	定額払い	実損払い	定額払いおよび実損払い(注)

注 定額払いが基本となっていますが、保険金額を限度に実損払いとする商品もあります。

本日は、**損害保険**についてご説明いたします。

損害保険と聞いて、どのような事（もの）をイメージされますか？

損害保険 =

偶然な事故によって生じた損害を
カバーするための保険です。



自動車保険



火災保険

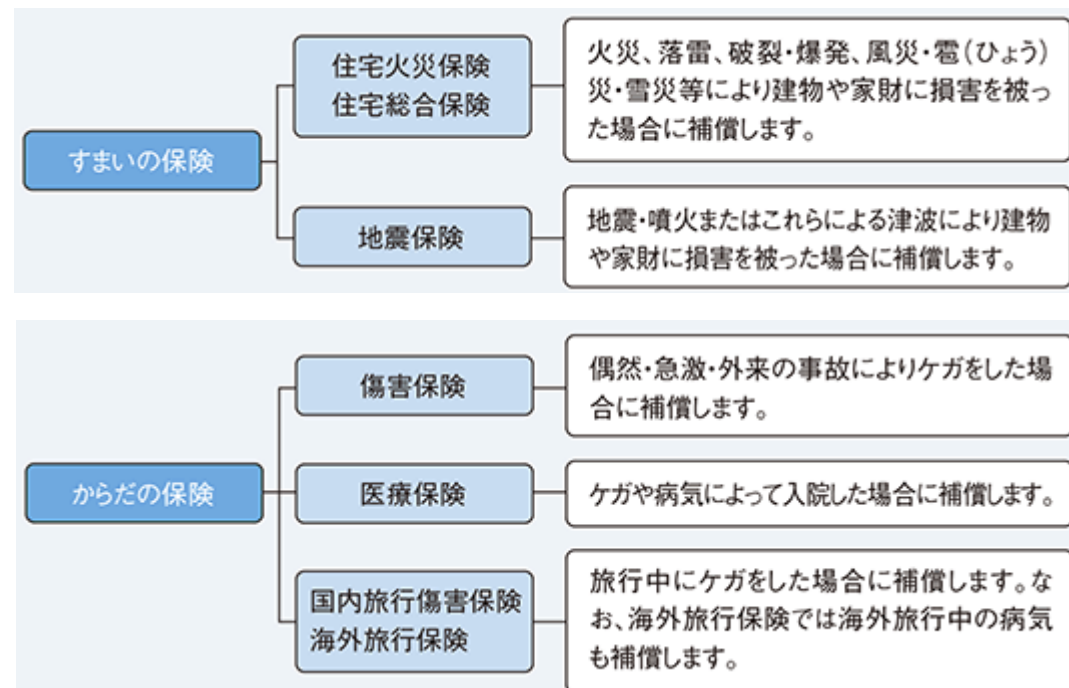
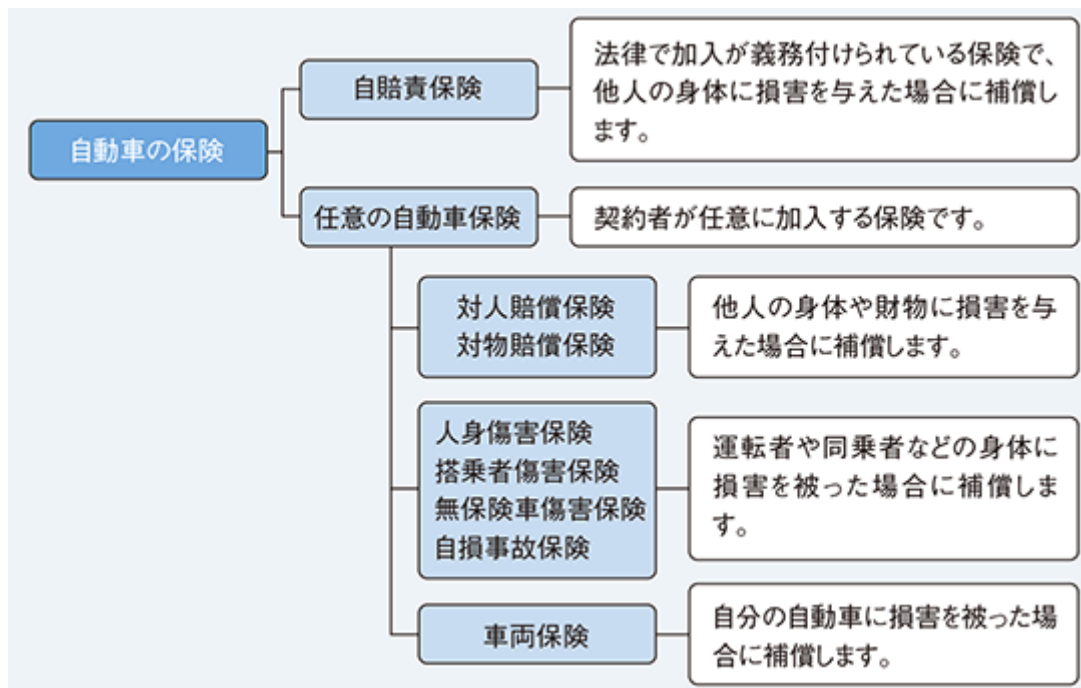


地震保険



傷害保険

損害保険の種類（主なもの）



工事に関する保険の概要（主なもの）

	工事中	引渡後	
	 <p>工事の目的物が 損傷するリスク</p>	 <p>工事中に第三者へ 賠償責任が発生するリスク</p>	 <p>引渡後に第三者への 賠償責任が発生するリスク</p>
対応する保険	工事保険 (建設工事・組立工事・土木工事)	賠償責任保険	
商品の概要	工事中に、工事現場において、工事の目的物が損害を受けた場合に、その復旧費用等として保険金をお支払いする保険です。	(請負業者特約) 工事中に第三者の賠償や財物に損害を与えてしまった場合に負担する法律上の損害賠償責任を補償する保険です。	(生産物賠償特約) 工事の目的物の引渡後に、工事の欠陥などにより第三者の身体や財物に損害を与えてしまった場合に負担する法律上の賠償責任を補償する保険です。

(ご参考) リスクに対する主な保険

リスクに備える主な保険は以下の通りです。

直接業務のリスク	火災・爆発	建設工事保険・組立保険・土木工事保険・火災保険
	輸送中・保管中の損傷	建設工事保険・組立保険・土木工事保険・火災保険
	施工ミス	賠償責任保険（請負賠償・生産物賠償など）
間接業務のリスク	労働災害	事業活動総合保険・傷害保険・労災総合保険
	情報管理不備	サイバー保険
	セクハラ・パワハラ	雇用慣行賠償責任保険
外部環境のリスク	地震・津波	地震保険（火災保険とセット）
	台風・洪水	火災保険
	盗難	火災保険・動産総合保険
	感染症	利益保険
	放火	火災保険
経営プロセスのリスク	経営者の疾病・死傷	生命保険・医療保険・傷害保険

※あくまでも一例です。

はじめに

リスクマネジメントの基礎知識

保険の基礎知識

事故事例の紹介 — 全管連・管工事賠償補償制度の事例 —

(ご参考) 全管連・団体保険制度のご紹介

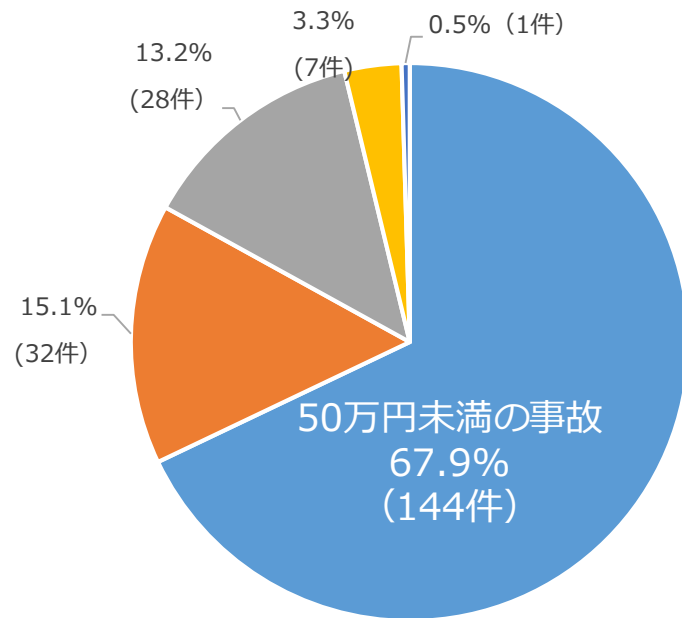
事故事例の紹介 一管工事賠償補償制度の保険金支払状況一

全管連・管工事賠償補償制度でお支払いした保険金は以下の通りです。

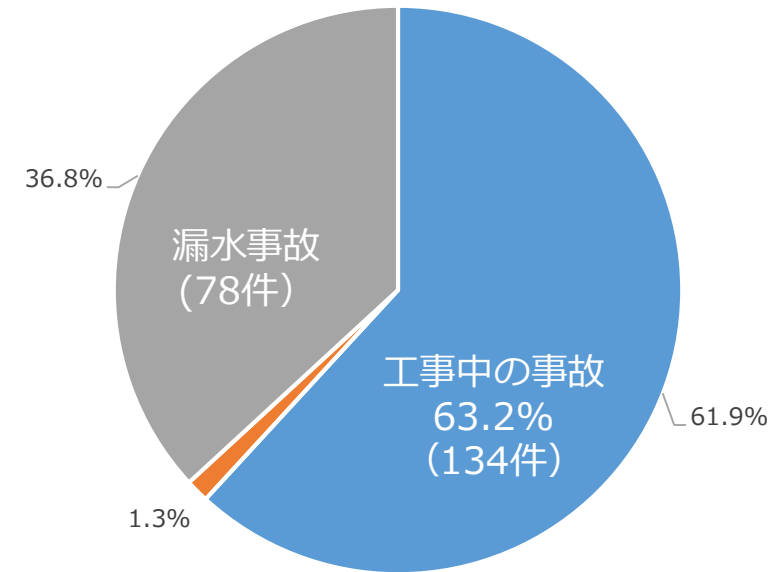
集計期間：令和4年11月～令和5年10月

発生件数：212件

支払保険金別事故発生状況



事故種類別 発生状況



■ 50万円未満 ■ 50万円～100万円 ■ 100万円～500万円 ■ 500万円～1,000万円 ■ 1,000万円以上

■ 工事中の事故(物の破損) ■ 工事中の事故(人のケガ) ■ 引渡後の事故(漏水)

事例1（工事中の事故）

新旧水道管の交換を行うため、重機の操作ミスにより擁壁にバケットを衝突させたもの。

お支払いした保険金：約8,800千円

発生原因

- ・重機の可動範囲と擁壁の位置を把握していたものの、工期に間に合わせるために焦っていたことから旋回時に擁壁とぶつかってしまった。



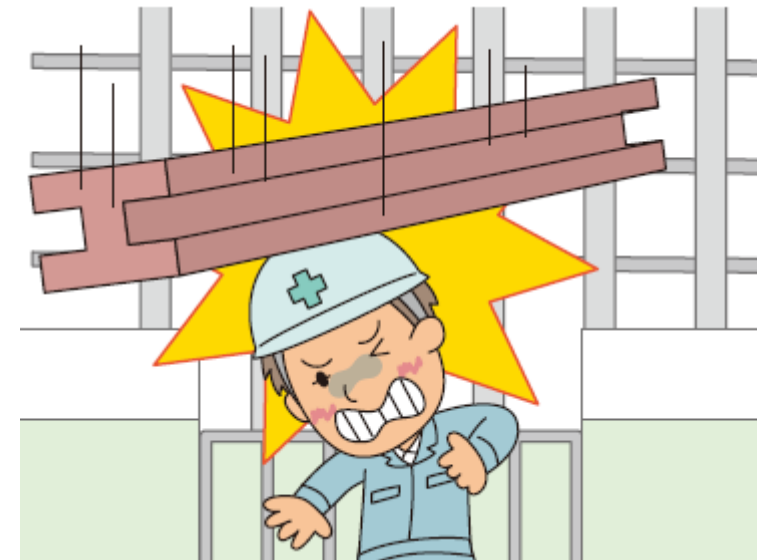
事例2（工事中の事故）

建物3階で空調設備設置工事を行っていたところ、切断していたダクトが落ちてしまい下にいた別の作業員にぶつかりケガをさせてしまった。

お支払いした保険金：約7,300千円

発生原因

切断中のダクトの飛散防止策を講じていなかった。
（落下対策は特に講じていなかった）



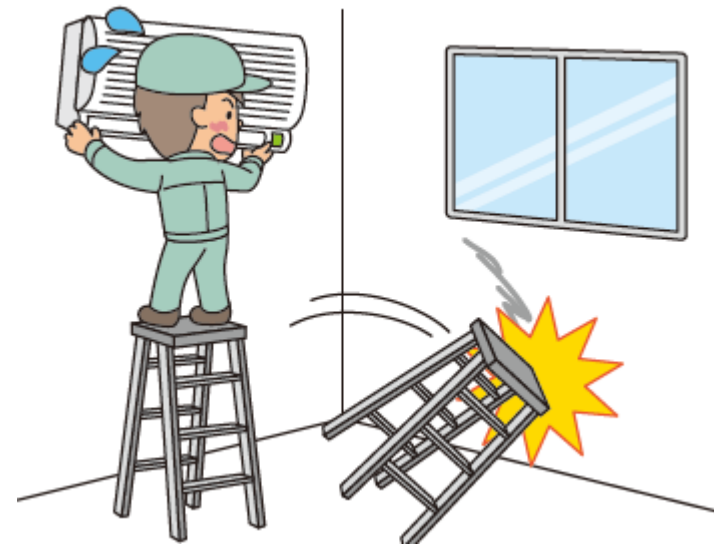
事例3（工事中の事故）

お客様宅でエアコン取り付け修理時に誤って脚立を倒してしまいドアや壁紙を破損。

お支払いした保険金：約350千円

発生原因

作業員の人的ミス。



事例4（引渡後の事故）

キッチンの給排水管から水漏れが発生し床と壁に被害発生した。（床・壁の腐食）

お支払いした保険金：約6,500千円

発生原因

- ・ パッキンを締めすぎたことで、配水管にキズが入ってしまったこと。
- ・ キズが入っていたことに気づけなかった。



事例5（引渡後の事故）

トイレの改修工事後に配管の工事部分から水があふれてしまい階下の壁・廊下が汚れた。

お支払いした保険金：約3,800千円

発生原因

- ・イレギュラー工事を行ったこと。
- ・逆流した水があふれるまでに時間が掛かったことで最終チェックした時に気づかなかった。



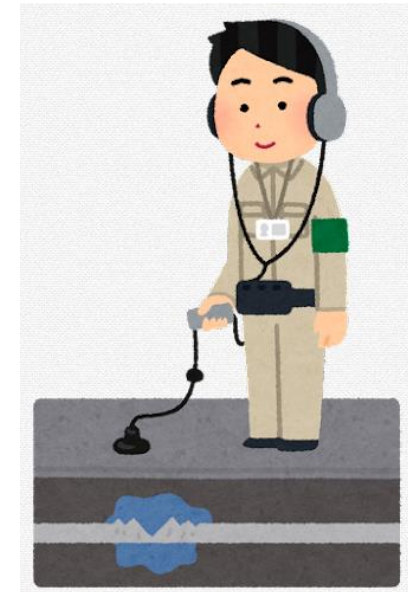
事例6（引渡後の事故）

2年目点検で漏水発覚。配管のゆるみを修復・床下掃除・乾燥作業を実施。

お支払いした保険金：約300千円

発生原因

- ・配水管の接続部分がきちんと締められていなかった。
- ・ゆるみのチェックが漏れていた。



全管連HPに事故防止に向けた取り組みとしてチェックシートを開示しています。

2018年2月1日

平成29年度(2017)

【全管連】「漏水事故防止チェックシート」の作成について

管工事業においても、工事中および工事完成・引渡後に生じた事故によって第三者や財物に損害を与える場合があります。損害の金額では「漏水」に起因するものが8割を占めています。

このため、本会では実際に現場で配管工（作業員）が実践できる、漏水を起こさせない配管工事チェックシートを作成しました。

所属会員企業におかれましては、拡大・縮小でプリントアウトして現場に持参いただき、活用をお願いいたします。

漏水事故防止チェックシート

URL : <https://zenkanren.jp/info/20180201/>

全国管工事業協同組合連合会 現場で役に立つ！使える！ 漏水事故防止チェックシート

建設業である管工事業において、工事中及び工事完成・引渡後に生じた事故によって第三者や財物に損害を与える場合があります。事故件数では「破損」及び「漏水」が大きな割合を占めますが、損害賠償の金額では「漏水」に起因するものが8割近くも占めています。

特に漏水の事故形態によっては1事故で数千万円の支払いが求められるケースが発生しており、会社の経営基盤を大きく脅かすこととなります。漏水事故防止や再発防止のためには、竣工間際の追い込みであっても、施工手順、品質の確認及び試運転調整を実施し、施工不良、確認不足及び材料選定ミスなどの人為的ミスに対して対策を講ずることです。

このため、本会では実際に現場で配管工（作業員）が実践できる、漏水を起こさせない配管工事チェックシートを2、3頁のとおり作成しました。プリントアウトして、現場に持参いただき、活用ください。また、4頁には漏水事故データを付しております。

それでも工事中、工事完了後に発生する賠償リスクは避けられません。本業界に特化した管工事賠償補償制度を4頁に用意しております。ぜひ、加入についても検討ください。

全国管工事業協同組合連合会(国土交通省認可団体)
<http://www.zenkanren.or.jp/>

配管施工時における漏水防止チェック項目

作業前・作業時・作業後と、3回確認し漏水防止に努めてください。

作業日 年 月 日

記入者[]

(配管施工前)

- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| ①作業スペースは確保しましたか | はい <input type="checkbox"/> |
| ②図面を読み、手順を決めましたか | はい <input type="checkbox"/> |
| ③管材、継手等材料に劣化、変形はないですか | はい <input type="checkbox"/> |
| ④専用工具等、必要な工具はありますか | はい <input type="checkbox"/> |

(配管施工時)

- | | |
|---|-----------------------------|
| ①管切断方法は確認しましたか | はい <input type="checkbox"/> |
| ②管切断面は正円・垂直ですか | はい <input type="checkbox"/> |
| ③継手と管の差し込みは充分であり、かつ接続忘れはないですか
(可能であればマーキングしましたか) | はい <input type="checkbox"/> |
| ④シール材は均一に塗布しましたか | はい <input type="checkbox"/> |
| ⑤支持に緩み、変形はないですか | はい <input type="checkbox"/> |
| ⑥直機や機械で配管、構造物等を
損傷させる恐れはないですか | はい <input type="checkbox"/> |

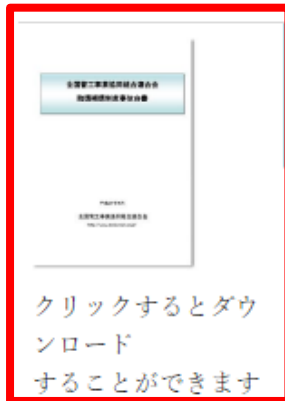
(配管施工後)

- | | |
|-------------------------|-----------------------------|
| ①配管を行った順に、巡回しましたか | はい <input type="checkbox"/> |
| ②配管にゆがみなど無理な力が加わっていませんか | はい <input type="checkbox"/> |
| ③水圧、通水、漏水試験は行いましたか | はい <input type="checkbox"/> |
| ④弁類の開閉は確かめましたか | はい <input type="checkbox"/> |
| ⑤作業スペースの片づけ、清掃は行いましたか | はい <input type="checkbox"/> |

全国管工事業協同組合連合会(国土交通省認可団体)
<http://www.zenkanren.or.jp/>

出典：全管連HP

全管連HPに事故情報をまとめた資料として「賠償補償制度事故白書」を開示しています。



全管連・賠償補償制度事故白書

会員の皆様へ安全な管工事業を目指していただけるよう、過去の本制度データを元に事故白書を作成しましたので、事故防止対策の一環として広くご活用ください。

URL : <https://zenkanren.jp/mutual-aid-system/>

2. 事故発生場所

事故発生場所のデータ分析になります。住宅物件、店舗や公共施設、また道路上での配水管



全国管工事業協同組合連合会 賠償補償制度事故白書

	保険金
	2,080,000円
	3,012,000円
	1,097,000円

	保険金
漏水、	70,000円
	138,000円
	102,000円
発生せずだった	660,000円

	保険金
漏水、	898,000円
漏れ被害が発生、	1,223,000円
	132,000円

令和5年12月
全国管工事業協同組合連合会
<https://www.zenkanren.or.jp/>

はじめに

リスクマネジメントの基礎知識

保険の基礎知識

事故事例の紹介 — 全管連・管工事賠償補償制度の事例 —

(ご参考) 全管連・団体保険制度のご紹介

(ご参考) 全管連・団体保険制度のご紹介

制度名称	管工事賠償補償制度	傷害総合補償制度	法定外労働災害補償制度
パンフレット			
保険種類	賠償責任保険年間包括契約 (請負業者特約・生産物特約・施設所有管理者特約)	事業活動総合保険	労働災害総合保険 下請負人担保特約付
制度概要	工事中、工事完成・引渡後の事故により、第三者の身体に障害を与えたり、財物に損害を与えた場合の賠償責任を補償。施設所有・使用・管理に起因する事故も補償。	政府労災に加入している所属員企業が対象。労働災害時に政府労災の上乗せ補償として所属員企業が従業員または遺族の方に給付する補償金を補償。	
制度の特色	<ul style="list-style-type: none"> ■ 3つの補償を1年間漏れなく補償 <ol style="list-style-type: none"> ① 工事・作業の遂行に関連する賠償責任 ② 工事完成後に関連する賠償責任 ③ 施設などに関連する賠償責任 ■ スケールメリットを活かした低廉な掛金水準 ■ 新特約の導入 2023年11月1日から「地盤崩壊危険補償特約」を導入！ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経営事項審査制度の資格審査で15ポイント加算評価 ■ 無記名で全従業員および現場に携わる下請負人を補償 ■ 業務上だけでなく通勤途上も補償 ■ 政府労災の認定を待たずに保険金をお支払い（傷害総合補償制度のみ） ※精神傷害、脳・心疾患など政府労災の認定が必要な場合があります。 ■ スケールメリットを活かした低廉な掛金水準 ■ 新制度の導入 2023年8月1日から「傷害総合補償制度」を導入！ 	
制度始期	毎年11月1日から1年間（中途加入：可）	毎年8月1日から1年間（中途加入：可）	

管工事賠償補償制度

管工事賠償補償制度は**3つの賠償リスクを補償**しています。

工事・作業の
遂行に
関連する
賠償責任の補償
(請負業者賠償)

工事中の事故



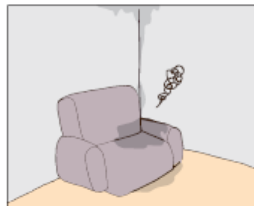
① 建築現場から資材が落下し、
通行人がケガをした



② 子供が作業場内に立ち入り、
穴に落ちてケガをした

工事完成
引渡後に
関連する
賠償責任の補償
(生産物賠償)

工事完了(引渡し)後の事故



① 配管の設備不良で漏水が発生、
カーペット・家具が汚損した



② 引渡し直後のビルの壁がくず
れ、隣の店舗が壊れた



③ マンホールのふたを閉め忘れた
ため通行人が落ち、ケガをした

施設等に
関連する
賠償責任の補償
(施設所有管理者賠償)

施設(事務所、資材置き場など)を所有、使用、管理に起因する事故



① 自社ビルから、植木(看板)等が
落下し、通行人をケガさせた



② 管理状況が悪く、資材置場に
子供が立ち寄り、ケガをした

(ご参考) 全管連・団体保険制度のご紹介 ー管工事賠償補償制度ー

基本補償の保険金額と掛金例は以下の通りです。

< 1 > 基本補償 保険金額

	身体賠償	財物賠償
工事中の事故 (請負賠償補償)	1名 2億円 1事故 5億円	1事故 1億円
工事完成後の事故 (生産物賠償補償)	1名 2億円 1事故・期間中 5億円	1事故・期間中 1億円
施設の所有・使用または 管理に起因する事故 (施設所有管理者補償)	1名 2億円 1事故 5億円	1事故 1億円

※青字は月々の掛金です。

< 2 > 基本補償 掛金例

プランⅠ
自己負担額
身体賠償 10万 財物賠償10万

プランⅡ
自己負担額
身体賠償 0万 財物賠償3万

月額掛金例	完成工事高 5,000万円	6,600円	年額掛金 79,200円	11,600円	年額掛金 139,200円
	完成工事高 1億円	13,100円	年額掛金 157,200円	21,500円	年額掛金 258,000円
	完成工事高 2億円	26,200円	年額掛金 314,400円	43,000円	年額掛金 516,000円
	完成工事高 3億円	38,700円	年額掛金 464,400円	53,100円	年額掛金 637,200円
	完成工事高 5億円	63,000円	年額掛金 756,000円	71,000円	年額掛金 852,000円

約80%の差！！

※条件によって異なります。

SJ賠償責任保険（汎用）の年間保険料：768,240円

※上記掛金は一例となります。加入タイプ、オプションにより掛金は大きく異なります。詳細はパンフレットをご確認ください。

(ご参考) 全管連・団体保険制度のご紹介 ー管工事賠償補償制度ー

一般的に土地の掘削工事等に伴う、土地の沈下、隆起、振動もしくは土砂崩壊に起因する地上の工作物等の損壊などは補償の対象外となっております。

2023年11月1日始期契約より、上記リスクを補償できる「地盤崩壊危険補償特約（※）」を導入しました！！

【標準プラン (45度免責有プラン)】

お支払いする保険金の限度額(保険金額)(保険期間1年)

財物賠償	1事故 保険期間中	2,000万円 4,000万円
自己負担額	5万円	

【充実プラン (45度免責無プラン)】

お支払いする保険金の限度額(保険金額)(保険期間1年)

財物賠償	1事故 保険期間中	2,000万円 2,000万円
自己負担額	5万円	

※緑色の箇所が発生した事故も補償します。

※特約（オプション）：標準プラン（45度免責有プラン）、充実プラン（45度免責無プラン）の2種類からお選びいただけます。詳細はパンフレットをご覧ください。

傷害総合補償制度

2023年8月1日より導入

(ご参考) 全管連・団体保険制度のご紹介 一傷害総合補償制度一

保険金額

契約プラン(型)	A	B	C
死亡補償保険金	2,000万円	1,000万円	500万円
後遺障害補償保険金(1~14級)	40万円~2,000万円	20万円~1,000万円	10万円~500万円
入院補償保険金	10,000円	5,000円	3,000円
通院補償保険金	5,000円	3,000円	2,000円
手術補償保険金	入院中 10万円 外来手術 5万円	入院中 5万円 外来手術 2.5万円	入院中 3万円 外来手術 1.5万円

+

使用者賠償責任補償特約(オプション)	3億円・2億円・1億円から選択してください。
--------------------	------------------------

**「三種類の型」と
「使用者賠償責任補償特約」**
の組み合わせでご加入いただきます。

- 契約方式
・売上高方式
- 補償対象者の範囲
・役員・個人事業主、正規従業員、臨時雇従業員
下請負人およびその構成員

掛金例

契約プラン : A
使用者賠償 : 3億円
一括払

契約プラン : B
使用者賠償 : 2億円
一括払

契約プラン : C
使用者賠償 : 1億円
一括払

年額 掛金例	完成工事高 5,000万円	142,720円	94,460円	68,090円
	完成工事高 1億円	249,440円	165,360円	119,450円
	完成工事高 2億円	361,590円	240,180円	173,830円
	完成工事高 3億円	524,920円	350,070円	254,140円
	完成工事高 5億円	837,900円	560,600円	408,040円

※上記掛金は一例となります。事業種類、加入タイプ、オプションにより掛金は大きく異なります。詳細はパンフレットをご確認ください。

(ご参考) 使用者賠償責任を負った場合の補償

- ・万一の労災事故発生により、被災従業員やその遺族等より企業が訴えられる可能性があります。
- ・争訟費用や法律上の賠償責任を負担することにより支払うべき損害賠償金は非常に高額になってしまう恐れがあるため、備えが必要です。

労災事故が 発生すると

①使用者責任を問われる可能性があります。

労働契約法 第5条【2008年3月施行】において、次のように安全配慮義務の明文化がなされました。
「使用者は、労働契約に伴い、労働者がその生命、身体等の安全を確保しつつ、労働することができるよう、必要な配慮をするものとする。」

②補償(賠償)額が高額になります。

2020年4月1日に改正民法が施行され、法定利率が変更されました。これに伴い、損害賠償額が増えることが予想されます。

近年は**巨額の賠償請求**が発生するケースが増加しています!

事故例1

約6,000万円のお支払い

工事現場にて、
従業員が鉄骨組立中に
地上へ落下し死亡した。
遺族が事故防止の対策を講
じていなかったとして会社を
訴えた。
(2002年の事故)



事故例2

約8,500万円のお支払い

直近で月200時間を超える
残業が続いていた従業員が
自殺した。長時間労働を放置
したとして遺族が会社を訴
えた。
(2016年の事故)



法定外労働災害補償制度

(ご参考) 全管連・団体保険制度のご紹介 —法定外労働災害補償制度—

保険金額

区分	給付内容	Aタイプ 給付保険金額	Bタイプ 給付保険金額
死亡補償保険金額	死亡	500万円	500万円
後遺障害補償 保険金額 (政府の労災保険の 認定級別によります)	後遺障害 第1級	500万円	500万円
	第2級	500万円	500万円
	第3級	500万円	500万円
	第4級	300万円	300万円
	第5級	200万円	200万円
	第6級	100万円	100万円
	第7級	60万円	60万円

区分	給付内容	Aタイプ 給付保険金額	Bタイプ 給付保険金額
後遺障害補償 保険金額 (政府の労災保険の 認定級別によります)	後遺障害 第8級	40万円	
	第9級	25万円	
	第10級	20万円	
	第11級	15万円	
	第12級	10万円	
	第13級	7万円	
	第14級	5万円	

掛金例

年額掛金例	完成工事高 5,000万円	17,430円(年)
	完成工事高 1億円	34,860円(年)
	完成工事高 2億円	69,720円(年)
	完成工事高 3億円	90,010円(年)
	完成工事高 5億円	145,160円(年)

試算条件

タイプ : Aタイプ

加人口数 : 4口

オプション

下請負人の政府労災特別加入者
(掛金5%割増)

天災危険補償特約(オプション)

業務中や通退勤中に地震もしくは噴火またはこれらによる津波によって生じたケガなどについて補償することが可能です。

※掛金が10%割増となります。

※上記掛金は一例となります。事業種類、加入タイプ、口数、オプションにより掛金は大きく異なります。詳細はパンフレットをご確認ください。

(ご参考) 全管連・団体保険制度のご紹介

— 傷害総合補償制度と法定外労働災害補償制度の違い —

傷害総合補償制度と法定外労働災害補償制度の差異は以下の通りです。

		傷害総合補償制度	法定外労働災害補償制度
基本補償	死亡・後遺障害保険金	○	○
	入院補償保険金	○	—
	通院補償保険金	○	—
主な特約	天災危険補償特約	○	▲
	脳・心疾患等補償特約	○	—
	使用者賠償責任補償特約	▲	—

○：自動セット ▲：オプション —：対象外

傷害総合補償制度は法定外労働災害補償制度に比べ補償を充実した制度になっています。
 お客さまのニーズに合った商品をお選びいただけるよう2制度をご準備いたしました。

まとめ

1. リスクへの備え方をご理解いただき、皆様の状況にあった対策を講じていただきたい。

→リスクマネジメントの基礎知識・4つのリスク対策など皆さまの状況・環境にあった対策を検討いただき、リスクに備えていただきたい。

2. 事故が起きたときの備えとしての「保険」の重要性をご理解いただきたい。

→「保険」は少ない負担で大きな補償を得ることができます。
また、幅広いリスクに対して補償することができる有効な手段といえます。
皆様をご加入されている保険がリスクにあった内容になっているか確認いただきたい。

ご清聴ありがとうございました。

